

ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式						
E142F012	地理学実習 (Practice on Geography)						対面						
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態					
選択	1	3	教育学部		金4	日本語	英語	単独					
担当教員	氏名 土居晴洋 E-mail hdoi@oita-u.ac.jp (土居) 内線 7549 (土居)												
授業の概要	地域調査の方法論について、史資料や研究論文、統計データなどを整理したうえで、課題を設定し、聞き取り調査や地形調査を実践して、調査成果の整理と課題を抽出する。												
具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)						1	2	3	4	5	6	7
目標1	調査の課題を設定することができる。												
目標2	調査計画を立案することができる。												
目標3	観察・測量・聞き取り等の調査を実行できる。												
目標4	調査成果を整理し、まとめることができる。												
目標5	調査の過程、まとめについて、意見を述べ、議論することができる。												
目標6													
目標7													
目標8													
目標9													
目標10													
各DPへの関連度(計10)							2	3	3	2			
授業の内容													
1	地域調査の必要性と意義												
2	地域に関する史資料の所在と入手												
3	地域に関する研究論文の所在と入手												
4	地域に関する研究の整理と課題の抽出												
5	統計資料による地域の特徴の考察												
6	アンケート調査の方法論												
7	聞き取り調査の方法論												
8	土地利用調査の方法論												
9	地形調査の方法論												
10	測量の概念と方法論												
11	気候調査の方法論												
12	植生調査の方法論												
13	土壌調査の方法論												
14	景観観察の方法論												
15	地域調査の成果の整理と課題												
ラーニング	A:知識の定着・確認	受講生の主体的な検討による計画、調査、まとめを行う。					工夫	LMS (Moodle) の活用					
	B:意見の表現・交換						その						
	C:応用志向						他						
	D:知識の活用・創造						の						
授業時間外学修の内容と想定時間	準備学修	資料の読解、疑問点の整理 (15h)											
	事後学修	課題の実施 (30h)											
	想定時間合計	45											
教科書	野間晴雄ほか編著 (2012) 『ジオ・パルNEO - 地理学・地域調査便利帖 - 』海青社												
参考書	牛山素行 『地域の調べ方講座』 (古今書院、2012)												

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10	
		質疑応答など授業に主体的に参加する。	30%										
		時間外学習を適切に行う。	30%										
		最終レポートを提出する。	40%										
注意事項													
備考													
リンク													
	URL												